

2025年
CTG

北海道本部恒例夏季臨時金交渉

No. 3 / 2025年 6月20日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

JR北海道と2回目の夏季一時金交渉

正社員 1.98 か月 / エルダー社員 1.0 か月

北海道鉄道本部は6月17日に夏期一時金についてJR北海道と2回目の団体交渉をおこない、この日は会社から有額回答がありました。支給率は正社員が「1.98 か月」（前年は1.9 か月）、エルダー社員については1/2条項を適用せず「1.0 か月」（0.96 か月）というものでした。建交労の要求は「2.0 か月＋全社員一律7万円の支給」で、社員の士気を高め家族の生活を守る会社の姿勢を示すことを求めています。概況説明時に、次回の団交で建交労の要求を履行するために必要な原資額を試算するように伝えており、会社から社会保険の事業主負担分を含めて50億円弱との試算結果が報告されました。会社からの有額回答をもとにした試算では45億円弱となっており、5億円を埋めるだけの体力は2024年度決算で社員の奮闘によって黒字を維持しており、今年度についても鉄道運輸収入は上昇しています。物価高騰から社員・家族の暮らしを守る立場で、5キロ4,000円のお米を購入するにも基本給40万円の社員と20万円の社員では負担の重さが違うことを繰り返し説明しました。また、北海道運輸局からの強化型保安監査が出されたことを理由に夏季一時金を抑制することは、一部社員の行動が全社員に委縮を与えて早期退職をはじめ士気の低下につながると思われ、建交労の要求に基づく夏季一時金支給を実現するために再考を強く求め団体交渉を終えました。

リヴィノールシステム分会 賃上げ・夏季一時金妥結

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は5月30日に賃上げと夏季一時金について妥結しました。妥結内容は、正職員の基本給・平均2,278円引き上げ（昨年は2,600円）、準職員・パートナー職員の時間給一律3円＋勤続加算は1年以上勤務者が4円、半年以上が2円（昨年と同額）。初任時間給（現在1,020円）は、10月の北海道の最低賃金改定で現在の額を上回るか同額となった場合は改定する。夏季一時金については、正職員は1.3 か月分、準職員は0.85 か月分、パートナー職員は0.56 か月分（いずれも昨年と同率）です。

「形石訴訟」が結審－判決は7月17日に

じん肺の遺族補償不支給決定の取り消しを求める「形石訴訟」が5月8日に結審しました。判決は7月17日に言い渡されます。

鉄道本部・伊達市黄金沖「カレイ釣り交流会」

北海道鉄道本部恒例の「カレイ釣り交流会」を6月15日に伊達市黄金沖でおこないました。波も風もなく曇り空で暑くもなく天候は最高でしたが、時期的に1週間遅かったようで釣果には恵まれませんでした。今回の参加者は5名で貸し船も一隻とちょっと寂しかったのと、狙いの大型マガレイはほとんどが産卵後のものでソウハチガレイの魚影も薄く、この時期に釣れるカスベ（エイ）も追分支部の大内さんが釣り上げた1枚のみでした。委員長の竹田さんは「今年は魚を釣ってきて自分では食していなかったのですが、初めてクロガシラカレイの煮付けを食べました、晩冬期の産卵から4か月が経っており、身も厚く縁側には脂がのっていて美味しかったです。ラストチャンスに希望を持ちたいのですが、休みがとれない。悔しいです」と話しています。